

自然塗装方法



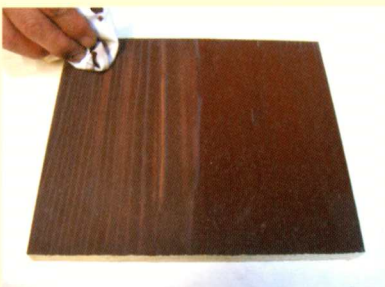
自然塗装には、主にベンガラ、柿渋、乾性油（木の表面で固まる）の荏油、桐油、亜麻仁油、くるみ油などの自然塗料を使用します。特に食器等の塗装には口に入れても問題のない、くるみ油、国産荏油をお奨めいたします。また、艶出し、お手入れには木に浸み込む菜種油、椿油を使用します。



柿渋の原液1升（1.8リットル）に対し、ベンガラ250gの割合で溶かすと約25㎡塗れます。（但し、木の乾き具合いで塗装面積は変わります。）柿渋は鉄と反応し、容器や釘を黒くするので、入れ物はプラスチック容器をご使用ください。



刷毛で均等に塗ります。自然塗装は木の表面にある小さな穴にベンガラを入れ、柿渋で接着することによって着色します。



乾く前にウエス（ぼろ布）で木目が見えるまで、木の表面に残ったベンガラを拭き取り、塗る時にできた泡やムラをとります。色を濃くしたい場合は、ベンガラが完全に乾いてから（1日以上）、その上に同様の作業を行ってください。



完全にベンガラが乾いたら、ウエス（ぼろ布）で薄く乾性油をすり込むように塗り、3日～4日、風通しの良い所で表面を乾かしてください。

- 【注 意】**
1. 当店の荏油、桐油、亜麻仁油は建築・工芸用で食用にはなりません。
 2. 乾性油は常温では問題ありませんが、使用したウエスなどを固めて置いておき、外気が大変高温になった場合、自然発火の可能性があります。したがって、使用したウエス等は水に浸すなどしてから処分してください。（塗装面は熱が発散するため発火することはありません。）
 3. 冷寒時、柿渋は乾きにくく、乾燥に時間を要します。完全に乾いていることを確認の上、乾性油を塗ってください。また、乾性油も冷寒時は乾燥に時間を要します。
 4. 塗る木の種類、乾燥具合、また使用する油によって、その仕上がり具合はそれぞれで異なります。実施する前に、木片や目立たない部分でお試しの上、塗装を行なってください。
 5. 自然塗装のお手入れは、濡れた雑巾等で強く拭くと塗装が剥がれますので、乾いた布で乾拭きしてください。
 6. 出来栄等については当店では責任を負いかねますので、施工前に塗装店とご相談の上実施ください。